

Yrdan Markov^{gadulka}
高本一郎^{rute}
田島隆^{tambourine}

2024 02月25日(日)
開場 14:30
開演 15:00
(2ステージ入替無)(1drink=600~)
MC=3700+2drinks order

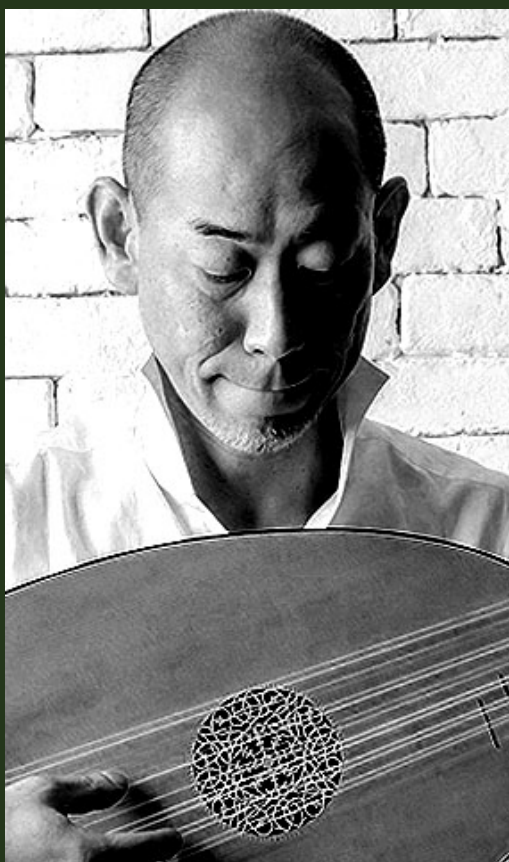
CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



高本 一郎

リュート&アコースティックギター奏者。フランス国立ストラスブール音楽院にて研鑽を積む。国内外の著名な音楽家と共演を重ね、ヨーロッパ、アジア諸国で公演多数。'08年ルーヴル美術館にてソロ公演を開催。フランス及び国内のTV・ラジオ放送出演、オペラ、バレエ、能狂言、歌舞伎、演劇、落語、講談、朗読の舞台、オーケストラ公演、スペイン・イタリア・フランスなど国内外の音楽祭に度々招かれる。NHK時代劇、アニメ番組、映画音楽、CM音楽、ジャズ&ポップスなどの録音に演奏・作曲&編曲で参加。リリースした多くのCDは「レコード芸術」特選盤、フランス & 英国のラジオ番組、フランスリュート協会推薦盤に取り上げられ、ANA国際線機内音楽 & AIR-DOの機内番組テーマ曲に採用されるなど、おかげさまで国内外で好評を得る。
大阪音楽大学音楽院講師。『読売ギターコンクール』銀賞受賞。

ヨルダンマルコフ

1977年、ガドゥルカの中心地であるトラキア地方のノヴァ・ザゴラ市出身。7歳の頃よりガドゥルカを習い始め、17歳には町の舞踊グループのアンサンブルとして活躍。シューメン大学音楽科卒業後、ノヴァ・ザゴラ市の音楽教室でガドゥルカとソルフェージュを教える傍ら、近くの村の子供たちに歌を教えたり、ライブ活動を行う。
2006年1月来日、まだまだ日本では馴染みの薄いブルガリア音楽を紹介しようと活動を始め、民族音楽バンド《BALKAN》などに参加。2016年、アコーディオン奏者佐藤芳明らと共に《ヨルダン・マルコフ・ブルガリア五重奏団》を結成。活動開始から1年経たずに都内ライブシーンで話題となり、翌年1st album《Iztok》をリリース。

田島隆

世界で最も珍しいタンバリン専門の演奏家。ドラムセットやあらゆるパーカッションの音、さらに音階やメロディー演奏が可能なオリジナルタンバリンを演奏し脚光を浴びる。そして世界各国に存在するすべてのタンバリンやフレームドラムを演奏できる唯一の演奏家でもある。幼少期より管・弦・打・鍵盤楽器を習得し、また作曲もする。その経験を生かし独自の演奏方法や楽器製作など、かつてない方法論で音楽を表現する。そのオリジナルタンバリンと世界のフレームドラムを使いソロ公演や画家や舞踊家とのコラボレーション、ジャズ、ルネサンス音楽、ロック、クラシック音楽、タンゴ、ヨーロッパ民族音楽、日本の古典音楽など様々なアーティストと共演。そして世界中のフレームドラムを学ぶための教室を各地に持つ。
<http://tazy.jp>